

海老名市立中新田小学校学校運営委員会協議会 議事録
(令和5年度 第1回)

- 1 日時 令和5年5月22日(月) 10:00～11:30
- 2 場所 海老名市立中新田小学校 生活科室
- 3 出席委員 笠原祐治委員長、檀浦かおり副委員長、鍵渡香代子委員、市川潔委員、猪飼誉之委員、林麻佐美委員、山本源委員、蕪木扶由美委員、藤井寿生委員、久保田祐子委員、石田雅樹委員、宮台理恵委員

4 会議の内容

- (1) 学校長挨拶
- (2) 委嘱状交付
- (3) 会長、副会長の選出

会長に、笠原委員を選出。

副会長に、檀浦委員を選出。

笠原委員長：学校運営委員会としての目的としては、保護者・地域と学校が信頼関係を深め一体となって学校を支援することである。児童生徒の健やかな成長と学びのための活動を行ってほしい。そのために委員が一丸となって学校に寄与していきたいと考えている。

(4) 令和5年度の学校経営方針について

～令和5年度海老名市立中新田小学校ランドデザインについて～

檀浦校長：学校教育目標は小中一貫教育として海西中学校区で同じものであり、めざす子どもの姿は「未来を拓く子」具体的には、自ら学び、主体的に行動する子としている。「心豊かな子」は様々な人とよりよく関わろうとする子です。「たくましい子」は心身共に健やかに、粘り強く取り組む子である

～目標達成のために目指す学校の姿目指す教師の姿～

檀浦校長：教員一人一人が子どもたちにかける言葉や見せる姿が子どもたちへ与える影響はとても大きい。だからこそ、学校教育目標を達成するためには、子どもたちに日常から接している先生たちが、学校運営を考え、運営していく姿が重要になる。そのためグループ会議を大事にしている。グループリーダーは総括教諭が務めているが、若い先生。臨任の先生も増えている。若手も学校経営に関わるべきと考え、それぞれのグループに属して担当業

務を進めている。まずはグループ会議で先生方の考えを引き出し、その後企画会や職員会議で検討している。多様な考え方を引き出すため、また働き方改革も視野に入れ、一人の責任ではなくプで考えみんなで考えていくことが大切だと考えている。また、グランドデザインと運営組織を一致して考えている。グランドデザインは毎年マイナーチェンジしており、令和4年度末に、先生方にも意見を出してもらって作成した。

～いじめ防止基本方針～

檀浦校長：いじめは絶対許さない 一人一人がかけがえのない存在。みんなが楽しく安心して過ごせる学校生活が大切だと日頃から児童に伝えている。今年度は、朝会でも全体に話をした。やってしまったほうはいじめのつもりではないことが多い。きつい言葉もゲームなどでつい使ってしまうなどその子にとっては日常の言葉で有ることが多いが、相手にとっては非常に傷つく言葉であり、見守りを続けている。加害の児童には、ごめんなさいで終わりではなく、これからのあなたの行動を見ていくと伝えて指導している。

～インクルーシブ教育～

檀浦校長：いろいろな支援が必要な子どもと一緒に学んでいきたい。加配がついたので、コーディネーターの教員が、関係職員と対応策を考えたり、調整をしたり、専門機関につなぐための時間を増やすことができた。とまり木ルームは行き渋りのある児童の居場所として利用している。現在利用者は1名で学校全体での不登校0になっている。休みが増えている児童は2名いる。

笠原委員長：クールダウンにも利用できるか。

檀浦校長：あまりにも興奮してしまっているときは別室で落ち着かせている。

石田教頭：職員から部屋の名前についていろいろなアイデアや意見が出た。皆で考えてこの名前になった。

～社会に開かれた教育活動～

檀浦校長：ひるえびについて ロング昼休みの35分間、学校応援団が中心となってい、子どもたちがいろいろな体験をしている。今年度は体育館・教室実施 活動内容としては折り紙、スライム、紙飛行機、ちりめん工作、ポスター作りを予定している。

体力テストについて 6月1日1年生の実施日に学校応援団の方にご協力頂く予定。

なか小もちっ子ひろ場について 地域の田んぼでもち米作りをしている。そのお米でもちつきを行う。PTAや中新田自治会が中心となってい、くださっている。ただ、次年度、今お借りしている田んぼがなくなってしまうので今後どうするか悩んでいる。今田んぼを貸してくださっている方が

他の候補地を探してくださっている。学校の周りも倉庫が増えるのではないかという情報がある。

～総括教諭自己紹介～

阿部総括教諭：心づくり部は、自他の尊重、互いに認め支え合うことを目標に掲げている。今年度より、とまり木ルームという別室登校の教室を作り、不登校支援やメンタルを整える支援をはじめている。保健室登校から別室登校、そして教室で授業を受けることができるようになるまで支援していきたいと考えている。低学年の児童の様子としては、入学・進級して自分のことを自分で行えるよう頑張っている。大きなトラブルはなく、異学年交流でも楽しく過ごしている。2年生も1年生をリードしようと頑張っている様子が見られる。

持田総括教諭：体づくり部は、体育的行事、安全教育、登下校などについて計画実施している。本校は地域の皆様の手厚い協力があり、登下校時の地域のパトロールによる見守り、PTAの立哨、パトロールなど積極的に実施してくださっている。また、来週から行われる新体力テストにも学校応援団のご協力を頂き、低学年の測定の補助を行って頂く予定である。

宮台総括教諭：カリキュラムマネジメントグループは、学校での様々な活動の計画を行い、実行していくグループである。年間を通した行事計画を行い、改善点を探し次年度に生かしていきたい。また一日の日課については1時間授業の45分を3つに分け、15分間ずつ中小タイム、モジュール学習として漢字練習や計算練習を行っている。

また、本日担当総括教諭が欠席しているが学びづくり部では今年度の校内研修のテーマを「主体的に考え、共に学び合う児童の育成をめざして～算数科における協働学習を通して～」とし、東京学芸大学 白井一之先生を講師にお招きして行う予定である。

～社会に開かれた教育活動【続き】～

檀浦校長：社会に開かれた教育活動の続きと言うことで、海老名高校さんの陸上部にコーチをしてもらったことがあるので、ぜひまたお願いしたいです。

笠原委員長：運動会の時に海老名高校のダンスを見せてもらったこともある。

檀浦校長：高校のダンス部の朝練に校庭を貸し出していたこともあるので、ぜひまたできるとよい。

鍵渡委員：幼稚園としても交流できたらいいと思っている。学校体験など調整ができたらぜひお願いしたい。

檀浦校長：徐々にコロナ前に戻しながら年間行事を行っていききたい。小学校教員の目だけだと気が付かないことがたくさんある。こんなことができるのではないか、楽しいのではないかということを出して頂けたらありがたい。

～学校行事・日課について～

檀浦校長：学校行事予定をご覧ください。9月の第2回運営協議会では運動会の練習の様子などを見学して頂きたい。10/7の運動会、11/14校内音楽会、もちっ子ひろば、3月の卒業式にも学校運営協議会の委員の皆様に出席のお声がけをする予定である。2月末の第2回運営協議会では卒業式練習の様子などを見学して頂きたい。

笠原委員長：史跡ガイドと一緒に6年生の史跡めぐりがあるのが良い

檀浦校長：先ほどの話にもあったように、モジュール学習を取り入れている。水曜日のロング昼休みには年8回のひるえびを実施。また、クラブ・委員会の日課をそろえた。木曜日は朝読書の時間 読み聞かせ（学校応援団図書ボランティア）も復活。図書の補修もして頂いている。

～ひびきあう教育実践事業計画～

檀浦校長：学校予算計画をご覧ください。今年度は前期後期に分かれている。来年度分については第3回の学校運営協議会の時にご意見頂きたい。

笠原委員長：ひびきの予算について今年から委員会のほうから、運営委員会協議会で
の了承が必要かという連絡が来ているか。

石田教頭：まだ今年度始まったばかりなので、そこまではできないのでは、

笠原委員長：ひびきあう教育は海老名の教育についての理念。子ども同士 教師と子ども 地域と子ども がひびき合って 海老名の教育をよくしていこうという考え。学校によって取り組みが違うので学校に合わせた予算配分をしたいと考えているが、「子どもが壊してしまった」、「足りないものがある」などの時の対応が大変。学校もいろいろ苦勞されている。

中小ならではのもちっ子やかかし作りなどで柔軟に利用できるようになるとよい。

石田教頭：前期で ひびき 70 万 事務用品 70 万 予算計上されている。後期のほうが若干少なくなっている。

檀浦校長：こちらの予算から講師料等も捻出している。先週も新体力テストに向け走り方の講師をお招きして授業を行った。子どもたちも夢中になって走り続けていた。

笠原委員：中新田小のすごいところはパトロールなど地域との協力体制。

檀浦校長：本校は登校班がない。地域の方が見守ってくれている。PTAも順番で立哨・パトロールをしてくれている

藤井委員：PTAとしては年間スケジュールを各地域に振り分けて立哨・パトロールを行っている。

～学校運営協議会実施計画について～

檀浦校長：全国学力・学習状況調査の結果から、将来の夢がある児童や学校での学習が大事と考えている児童は多いが自分で考えたり、難しい課題挑戦したり、学習にどう取り組もうか考えたりする児童が少ない。本校の教育目標でもあるの粘り強く取り組む児童というところをどう工夫していくか考えていきたい。自然豊かな地域であることが特徴だが、道路が太く踏切が多い。また利便性は高く開発は進んでいる。児童の安全確保が必要となっている。外国籍の児童・支援が必要な家庭が多い。そんな中で今後の協議事項として主体的に学習行動する子どもを育成するために必要なことやどんなところで地域連携ができそうか協議していきたい。

(5) 校内見学

(6) 意見交換

笠原委員：6年生の授業を楽しみにしていた。活発に活動している。音楽と算数を見ていたら落ち着いている。6年生になると上級生の自覚。下級生の面倒を見な蹴ればという意欲が高まり、最高学年としてみんなを引っ張っていける。また、プロジェクタを使って、うまく使いこなしている。一人一台タブレットも配備され、子どもたちが意欲的に学習していくのであろうと感じる。

鍵渡委員：コロナ制約のなくなった音楽の学習を見れて安心した。子どもたちの音色久しぶり。1学年で2学級の学年と3学級の学年を比べると人数の違いを感じる。狭いなという印象。各クラスの人数を減らす少人数教育が充実するといい。

猪飼委員：今日も癒された。掲示物を貼り換え。自分の作品を大切にする、自分の著作物であることを意識していくことが大事。その下地として、自分の作品をぞんざいに扱ってはいけないという意識を小学生のうちから持たせたい。

林委員：元気ですが落ち着いているなど感じた。とまり木という名前がとても良い。ここで休息して教室見戻っていく。みんなで過ごしていくイメージ。

市川委員：小学校の授業風景を見るのが久しぶり。自分のころは画一的だった。今日見て、低学年はビジュアル的な授業が多い。文明の利器を活用している。机の向きがバラバラで工夫するなど個性的。各クラスによって先生の個性が出ていて今時だと感じた。

山本委員：3年目になるのですが、マスクもなくなって年々明るくなっていく。2学期の運動会も楽しみにしています

蕪木委員：コロナでは静かにすることが多かった。活気が戻ってきている。とまり木、いずみ級、国際級、ひまわり級と支援の目で考えられている。音楽発表会は例年生き生きしていて、子どもたちの達成感を感じられた。今

年の行事が戻ってくるのが楽しみである。

藤井委員：今までのマスク着用の影響が大きい。2年生より下は外している。4年生くらいはつけている子が多い。6年生はみんなつけている。もっと外せるようになるといいなと感じる。

久保田委員：5類に移行して、実験を一緒にしたり、机をくっつけたりしているのを見るのが久しぶりでした。

（7）その他

次回の、学校運営協議会は、9月下旬に開催予定。